

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5301 日本文学序論1			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	火曜2限				
教室	D204教室				
代表教員	稲葉 有祐				
担当教員	稲葉 有祐				
テーマと到達目標	古典の基礎的な知識と史的展開について学びます。日本の文学作品は、伝統を継承しつつも、時代に応じて絶えず変奏され、新たな生命を宿していきます。そのため、時代状況や文学史としてのダイナミズムを系統立てて捉えることが重要となります。本授業では、作品の背景や意義を理解し、影響関係や史的な流れを把握することを目指します。それぞれの作品にあたりながら、問題点の探し方や研究の方法を身につけていきましょう。				
概要	日本の古典文学を通史的に学びます。本授業は、文字の獲得から始まり、王朝文学と隠者文学、近世期における変奏を基幹として構成しています。文字と言葉、話型、主人公造形の方法、作者と読者の問題、文学論、思想、異化と翻案といった側面に留意しながら、散文・韻文の作品を観賞・解説します。点から線へ、線から面へと、各作品がどのように有機的に連なり、文学史を形成していくのか。要点を押さえながら組み立てていきましょう。毎時の課題・コメントは授業内でフィードバックし、問題点を共有していきますので、積極的に参加してください。期末にはレポートを予定しています。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	日本の文学史について				対面授業
第2回	文字の獲得 ～『古事記』序文と口承の時代～				対面授業
第3回	語源説話と『風土記』・『竹取物語』				対面授業
第4回	貴種は流離する（1） ～『伊勢物語』と昔男～				対面授業
第5回	貴種は流離する（2） ～『源氏物語』と光源氏～				対面授業
第6回	王朝文学の読者 ～『更級日記』～				対面授業
第7回	『古今和歌集』仮名序と六歌仙				対面授業
第8回	百人一首と歌人たち				対面授業
第9回	隠者と無常観 ～『方丈記』～				対面授業
第10回	兼好法師の思考と批評 ～『徒然草』～				対面授業
第11回	三太郎の系譜 ～御伽草子をめぐって～				対面授業
第12回	パロディの時代 ～仮名草子『犬枕』・『仁勢物語』～				対面授業
第13回	貴種は流離する？ ～浮世草子『好色一代男』～				対面授業
第14回	怪異と執念・宿命 ～秋成と読本～				対面授業
第15回	職業作家馬琴、勸善懲惡の思想 ～まとめをかねて～				対面授業
成績評価の基準	授業時に指示する課題（50％） 期末レポート（50％）				
履修にあたっての留意事項	「日本文学序論2」（後期）と合わせて履修することを勧めます。 2023年度の日本文学序論1（担当・稲葉）を未受講の学生を対象とします。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし。		
教科書	プリントを配付します。受講にあたっては授業資料をよく読み、問題点を整理しておいてください（予習復習・60分）。	教科書(ISBN)	
参考文献	授業時に適宜指示します。	参考文献(ISBN)	